

台湾における単板の輸出入 (2020-2024年)

(台湾の単板輸入)

2020年から2024年11月までの単板輸入の推移は次のとおり。

輸入元	2020		2021		2022		2023		2024		直近5年の輸入合計		
	m ³	USD/m ³	全体量 m ³	USD/m ³	割合								
中国	82,884	431	106,350	473	95,788	468	84,027	433	81,982	430	451,031	449	47.3%
ブラジル	26,646	223	10,150	249	20,009	321	15,269	274	8,189	242	80,263	263	8.4%
ベトナム	17,524	300	20,940	289	20,290	310	12,696	310	6,275	290	77,725	300	8.1%
マレーシア	18,123	400	19,685	437	11,107	559	12,423	409	16,226	398	77,564	433	8.1%
チリ	19,346	257	14,491	289	17,505	340	11,077	300	8,718	272	71,137	293	7.5%
カメルーン	7,648	504	9,563	486	12,171	472	15,148	503	17,565	492	62,095	491	6.5%
ニュージーランド	11,298	296	18,103	297	11,907	349	7,196	331	5,442	296	53,946	313	5.7%
その他	30,564	521	16,554	744	19,465	606	10,702	766	3,278	1,284	80,563	651	8.4%
合計	214,033	385	215,836	435	208,242	439	168,538	422	147,675	422	954,324	420	100%

※税関輸入統計による

2024年1月から11月までの単板の輸入量は147,675 m³、平均輸入価格は422 USD/m³、

2023年は168,538m³、平均輸入価格は422 USD/m³、

2022年は208,242m³、平均輸入価格は439 USD/m³、

2021年は215,836m³、平均輸入価格は435 USD/m³、

2020年は214,033m³、平均輸入価格は385 USD/m³であった。

5年間の単板総輸入量は954,324m³、年間平均輸入量は190,865m³、平均輸入価格は420 USD/m³であり、輸入された単板は主に普通合板と化粧合板の製造に使用された。

2023年と2024年の1月から11月までの単板輸入量は、平均と比較するとそれぞれ11.7%と22.6%減少した。これは、この2年間で単板の輸入量が大幅に減少したことを示している。

輸入単板の材積量でのランキングを見ると、主な輸入先は中国、ブラジル、ベトナム、マレーシア、チリの順である。なかでも中国が最大の単板輸入先で、全体の47.3%を占め、その平均輸入価格は449 USD/m³であった。

中国から輸入している合板製造用単板は人工林のユーカリで、東南アジア産のラワンに取って代わっており、これによって合板のコストが下がり、原料が入手難で高価という問題が解決された。

ブラジルは第2位で、全体の8.41%、平均輸入価格263 USD/m³、主にラジアータパイン単板である。ベトナムは第3位で8.14%、平均輸入価格は300 USD/m³である。マレーシアは第4位、8.13%、平均輸入価格433 USD/m³であった。

(台湾の単板輸出)

2020年から2024年11月までの単板輸出の推移は次のとおり。

国	2020		2021		2022		2023		2024		直近5年の輸出量合計		
	m ³	USD/m ³	全体量 m ³	USD/m ³	割合								
フィリピン	2,862	505	2,133	605	3,975	586	4,229	563	3,704	545	16,903	560	43.9%
マレーシア	784	735	832	546	397	484	1,780	553	1,200	523	4,993	568	13.0%
日本	670	1,496	915	1,548	1,115	1,356	920	1,539	524	2,214	4,144	1,570	10.8%
中国	894	2,748	1,236	2,508	903	2,135	558	3,330	488	2,844	4,079	2,631	10.6%
ベトナム	438	1,817	535	1,935	533	1,559	143	3,713	235	1,434	1,884	1,874	4.9%
インドネシア	191	3,581	1,042	1,821	371	2,186	194	2,588	75	6,373	1,873	2,335	4.9%
インド	161	2,360	361	2,324	269	2,855	242	3,219	215	3,191	1,248	2,766	3.2%
シンガポール	16	8,000	134	4,306	80	4,200	118	5,492	185	3,022	533	4,218	1.4%
カンボジア	120	1,042	107	963	79	886	102	941	98	2,010	506	1,168	1.3%
その他	204	7,397	304	5,928	450	2,404	1,313	1,829	86	6,105	2,357	3,105	2.1%
合計	6,340	1,436	7,599	1,647	8,172	1,206	9,599	1,208	6,810	1,171	38,502	1,325	100%

※税関輸入統計による

2024年には6,810 m³が輸出され、平均輸出価格1,171 USD/m³。

2023年の輸出量は9,599 m³、平均輸出価格1,208 USD/m³。

2022年の輸出量は8,172 m³、平均輸出価格1,206 USD/m³。

2021年の輸出量は7,599 m³、平均輸出価格1,647 USD/m³。

2020年の輸出量は6,340 m³、平均輸出価格は1,436 USD/m³。

5年間の単板総輸出量は51,050 m³で、輸入量の約5%に相当し、平均輸出価格は1,325 USD/m³であった。

美しい文様と色彩の高付加価値天然木化粧硬化単板が中心である。輸出単板の材積量でのランキングを見ると、

主な単板輸出先はフィリピン、マレーシア、日本、中国である。フィリピンが輸出先の1位で全体の43.9%を占め、平均輸出価格は560 USD/m³。次いで、マレーシアの割合が13.0%、平均輸出価格は568 USD/m³。続いて、日本が10.8%、平均輸出価格1,570 USD/m³。中国の割合は10.6%で平均輸出価格は2,631 USD/m³であった。